

大船渡水産振興センター「復興板」

令和3年1月21日発行 第91号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

令和2年12月31日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、89%となっています。

	災害査定 (R1再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	33,037,441	240	32,669,426	32,639,011	99	236
漁港海岸	11	33,784,333	11	29,681,002	26,714,284	79	9
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合計	255	67,320,654	253	62,849,309	59,852,175	89	247



さっちゃんNEWS part1

<アユ種苗の初出荷が行われました！>

令和2年12月18日に大船渡市末崎町にある（一社）岩手県栽培漁業協会で行われた今シーズン初のアユ種苗の出荷が行われました。

アユ種苗は、9月上旬から10月上旬に人工授精させた卵をふ化させ、体重約0.6gまで飼育したものです。2月末までに県内の河川漁協等へ約600万尾が出荷されます。

出荷後は5～6月頃まで中間育成場で飼育されて、体重約10gで河川に放流されます。

元気に泳ぎ回るアユの種苗



バケツリレーでトラック内の水槽へ



アユ種苗はトラックの荷台に積まれた水槽へ入れて運搬



★★★スマイル130（いちさんまる）プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の方々の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の整備状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。
令和2年度に陸前高田市管内で漁船上架施設1件の整備が予定されています。

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（1月1日から11月末までの累計）

令和2年		令和元年		震災前 (H20~H22の平均)		前年比 (R2/R1)		震災前(H20~ H22の平均)との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
27,144	5,153,764	28,686	4,357,698	52,634	5,789,256	95	118	52	89

出典：いわて大漁ナビ

令和2年1月から11月までの大船渡市魚市場の水揚げ量は27,144トンで、前年度の95%、震災前の52%でした。主な水揚げ魚種は、マイワシ(11,320トン、5億8千6百万円)、サバ類(4,162トン、4億4千8百万円)、サンマ(5,633トン、26億4千万円)などでした。なお、前年度と同等の水揚げ量になった理由は、イサダが前年比の11%まで減少したものの、マイワシが前年比の216%も漁獲されたためです。



さっちゃんNEWS part2

<ウニの蓄養モデル構築に向けた 取組が始まりました！>

令和3年1月13日に綾里地先の海で採捕したウニ1,000個を綾里漁港内の蓄養池へ移殖しました。これは、県の委託事業である「黄金のウニ収益力向上推進事業」で行われたもので、今年度から新たに始まった取り組みです。

近年、本県沿岸ではウニの生息数が過剰となっており、餌料となる海藻の不足から身入りの悪いウニが増加しています。そこで、県では漁場におけるウニの生息密度の適正化を図るとともに、新たなウニの蓄養・出荷モデルを構築することを目的として上記の調査業務を委託する運びとなりました。

今後は週2回餌となる塩蔵コンブを与えながら、ウニの蓄養を行います。今後の取り組みの進展にぜひご期待ください。



蓄養池の全容
約500㎡あります。



移殖の様子



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです！



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 玉山〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229